

IAUD特別ワークショップ  
2012年 実施計画書

IAUD Special Workshop 2012 Action Plan

48時間デザインマラソン in ふくおか

The 48 Hour Marathon for Universal Design in Fukuoka  
2012. Oct. 10th ~ Oct. 12th



国際ユニヴァーサルデザイン協議会  
International Association for Universal Design

# ●目次

- 開催主旨
- 企画概要
- ワークショップテーマ
- 運営体制
- チーム編成
- スケジュール
- 参加者募集要項
- 会場周辺地図およびアクセス

# ●開催趣旨

## ■IAUD事業における特別ワークショップの位置づけ;

国際UD宣言2002年であられた『一人一人の人間性を尊重し、使い手中心の考え方を重視したものづくりや、社会環境作りを目的とした研究』を、推進するためのワークショップとして位置づけています。またこの活動は、ユーザー対話型ワークショップ『48時間デザインマラソン』として 2004年から継続的に取り組んでおり、IAUDの代表的な活動の一つとなっています。

## ■ワークショップの目的;

主要な目的を以下の内容としています。

- ・UDの普及啓発
- ・将来のUDを担うリーダーやデザイナーの人材育成
- ・新たなデザイン開発手法を探求する学びの場

そして下記5項目を骨子に創造的なワークショップ開催を目指します。

1. デザイナー、エンジニア、マーケッタ、研究者などの参加者が、ユーザーの生活の場の様々な事象を自ら体験することにより、リアリティーに基づく気づきを得て創造力豊かなユニヴァーサルデザインのアイデアを獲得すること。
2. 誰にでも優しく安心して社会参加できる生活環境の創出を、衣食住、製品、労働、移動、余暇レジャー、情報メディアなど多様な視点から追求し、生活者や地域社会に寄与する解決方法を、具体的なデザインを通じて行なうこと。
3. プレゼンテーションを公開審査の場とし、ユニヴァーサルデザインの取り組みや活動に対する社会的価値と役割を、多くの方に理解してもらうこと。
4. 短時間内で、調査・企画・発想・プレゼンテーションまで行う集中力を養い、ITを駆使してデザイン具現化力の向上を目指すこと。
5. 現役の学生が、業界を超えて集まったプロデザイナーとユーザーの協業に参加する産学協働の場をつくることで、将来のユニヴァーサルデザインを担う人材育成の場とすること。

# ●企画概要

■名称：特別ワークショップ:48時間デザインマラソン  
(Special Workshop: The 48 Hour Marathon for Universal Design)

■開催日程：2012年10月10日(水)～10月12日(金)

■開催場所：九州大学芸術工学部多次元デザイン実験棟(大橋キャンパス)  
〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1  
TEL.092-553-4400(代表)

■運営：国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD)

■協力：九州大学、特定非営利活動法人まる

■後援：福岡県、福岡市

■活動概要：IAUD会員および福岡県民から募集された参加者は、事前に決められたチームリーダーのもと、6つのチームに編成されます。各チームは与えられたワークショップのテーマに基づき、48時間という限られた時間内にUDの競争設計を行います。

48時間の前半は主に、障がいをもつユーザーと共に福岡市内の生活現場へ出かけ、様々な問題点を抽出することに費やされます。後半は主に、デザインの具現化とプレゼンテーションの準備に費やされます。

最終日には、趣旨に賛同して見学頂ける来場者やマスメディアに対して公開プレゼンテーションを行い、会議参加者のみなさんの公開審査によって優秀作が表彰されます。

# ●48時間デザインマラソンinふくおか ワークショップテーマ

「安心・安全～ユニヴァーサルデザインの基本を考える～」

## 世界の玄関、福岡と観光

九州の北部に位置する福岡はかつて「城下町・福岡」と「商人の街・博多」で双子都市として分担が成立していました。明治維新の際に福岡と博多は再編され一つの地域区分となり、現在では従来の魅力はそのままに行政はもちろん繁華街、商業地としても九州最大の都市として発展を続けています。

中でも人口約148万人の福岡市には、行政機関や全国企業の支社などが置かれ、商業の高度な都市機能や広域交通機能の集積を背景に九州地方の中核管理都市として位置づけられます。

そして都市型の魅力だけでなく恵まれた自然環境を持ち、固有の歴史や風土の「歴史、自然」の魅力に加え博多祇園山笠やどんたく、放生会(ほうじょうえ)、福岡アジアンズなどの「文化、芸術」や、玄界灘の海の幸をはじめとして、もつ鍋や博多ラーメンの屋台を巡るなどの多彩な「食」など多面的な魅力も備えています。

また国際都市としての位置づけも重要で四季を通じて国内外から1600万人の観光客が訪れ外国人に対する重要な玄関口となっています。

このような多面的な魅力と機能を持つ福岡で国内外の観光の視点からユニヴァーサルデザインを発想することは、人と暮しと文化、歴史、世界との交歓を生み出し、地域に住む人々から観光客など多様な人々が享受する確かなデザインにつながるでしょう。

福岡の観光にかかわる移動、情報、製品、サービス、空間、広告など、ソフト面ハード面のリアルなデザインを各チームが提案することを目標とします。

デザインの方向は、各チームのゲストユーザーの問題を解決するとともに、それを「誰にでも開かれたデザイン」として、形としてまとめあげてください。

多くの人々が安心して住まい、訪れ、心から楽しむことができ、そして幾度も訪れたいくなる様な、魅力ある将来の福岡に対する提案を期待します。

# ●運営体制

- 運営事務局 (Secretariat):  
「国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)」  
International Association for Universal Design
- 監修 (Supervisor):  
金沢美術工芸大学教授 荒井 利春 (あらい としはる)
- 運営協力者 (Administrative Partner):  
九州大学准教授 平井 康之 (ひらい やすゆき)
- 運営責任者 (Director):  
「IAUDワークショップ委員会」委員長  
牧野 克己 (まきの かつみ)
- 運営副責任者 (Deputy-Director):  
「IAUDワークショップ委員会」副委員長  
藤木 武史 (ふじき たけし)
- WS運営サポート (WS Operation support):  
「IAUDワークショップ委員会」  
井内 育生 (いのうち いくお)  
今井 美希 (いまい みき)  
上垣 直希 (うえがき なほき)  
北村 卓也 (きたむら たくや)  
新木 英和 (しんき ひでかず)  
高本 康明 (たかもと やすあき)  
谷 泰浩 (たに やすひろ)  
中岸 裕子 (なかぎし ゆうこ)  
矢辺 憲二 (やべ けんじ)  
吉田 聡 (よしだ さとし)

# ●チーム編成

## ■全6チームを編成

## ■1チーム 構成メンバー内訳

- ・チームリーダー.....1名
- ・ユーザー.....1名
- ・デザイナー / エンジニア / マーケッター等 .....5名
- ・学生ボランティア.....2名

---

計 9名 / 1チーム

## ■チームリーダー:

応募した参加者のなかから、各チームのリーダーとなる方をIAUD側から依頼させていただきます。チームリーダーはワークショップに先立ち、組織されたチームメンバーとコミュニケーションを取り、チームビルドを行います。またワークショップ時は、チームメンバーとの協議を通じて活動を円滑にし、時間内にテーマに基づいたソリューションを導きます。

## ■デザイナー / エンジニア / マーケッター 等:

IAUD会員企業より募集したデザイナー、エンジニア、マーケッター、福岡県在住デザイナーなど 合計36名を 6つの混成チームに分けます。それぞれのチームには、同一の企業から2名以上参加できないこととします。募集およびチーム編成は運営側で行います。

# ●チーム編成

## ■ユーザー：

車いすを使用されているユーザー [2名]、視覚に障がいのあるユーザー [2名]、聴覚に障がいのあるユーザー [2名] を各チームに1名ずつ配属します。ユーザーは高い社会参加意識と共に、各種コミュニケーション手段により自身の考えを伝えることができる方を、荒井先生と工房まる様の協力で募ります。具体的には、自身の身体機能特性や道具、設備機器との関係をチームメンバーに説明するとともに、実際の生活現場でどのような問題や事象が発生するのかをチームメンバーと具体的に確認したり、デザインへの助言を行なって頂きます。

## ■学生ボランティア：

それぞれのチームには、2名の学生ボランティアが付きチームをサポートします。学生ボランティアは次の役割を担える方とします。手話ができる方を歓迎します。

- ① ユーザー介助
- ② デザインワーク補助
- ③ 視覚障がいを持つユーザーへの情景描写（情景を言葉で表現）
- ④ ワークショップ活動の記録（写真、動画、メモなど）

ワークショップ2日目にチーム間発表会を実施します。発表会は各チームの調査内容の情報交換の場とし、フィールドサーベイの結果を中心にまとめ、学生ボランティアから報告して頂きます。

# ●スケジュール

## 10月10日(水)

- 9:30—9:45 ユーザー、リーダー集合 (九州大学芸術工学部多次元デザイン実験棟)
- 9:45—10:30 ユーザー・リーダーMTG (多次元デザイン実験棟内会議室)
- 10:30—11:00 ユーザー、リーダーを除く参加者集合 (九州大学芸術工学部  
多次元デザイン実験棟)
- 11:00—12:00 開会式 (多次元デザイン実験棟)
- 12:00—13:00 チーム会議、昼食 (調査エリア、タイムスケジュール等の決定)
- 13:00—18:00 フィールド調査 (市内他)
- 18:00—20:00 チーム作業 (多次元デザイン実験棟)
- 20:00— メンバー間交流会

## 10月11日(木)

- 8:30—9:30 チーム間発表会 (各チーム調査概要発表)
- 9:30—21:00 チーム作業

## 10月12日(金)

- 8:00—12:00 チーム作業 (プレゼンテーション準備)
- 12:00—12:30 プレゼンテーションデータ提出
- 12:30—14:00 教室片付け、昼食
- 14:00—15:30 移動、会場入り (福岡国際会議場メインホール)
- 16:20—16:30 チーム発表・公開審査 開会式
- 16:30—17:30 チームプレゼンテーション (福岡国際会議場メインホール)
- 17:30—17:50 投票・結果発表・表彰・講評 (荒井教授、IAUD代表、他)
- 17:50—18:00 チーム発表・公開審査 閉会式
- 18:00—19:30 休憩
- 19:30—21:00 歓迎レセプション参加

## 10月13日(土)

- 9:00—10:30 振り返りの会 (九州大学芸術工学部多次元デザイン実験棟)
- 10:30—11:30 片付け、返却

# ●参加者募集要項

■応募資格: IAUD会員 および 国内外で活躍されているプロのデザイナー、エンジニア、マーケッター、プランナー、研究者、など（国籍不問）

■募集期間: 2012年8月7日～2012年9月28日

■募集人員: 参加デザイナー 計36名（6グループ）  
学生ボランティア 計12名（6グループ）

※定員となり次第募集を締め切らせて頂きますので ご了承ください。

※リーダー6名は、締め切り後にIAUD側から依頼させていただきます。

■応募方法: <http://www.iaud.net/> より応募用紙をダウンロードし必要事項を  
問合せ先: ご記入し、メール又は FAXにて**IAUD事務局へ送付下さい**。

不明な点はIAUD事務局までお問い合わせ下さい。

Tel : 045-901-8420 / Fax: 045-901-8417 / Mail: info@iaud.net

■参加費 : 50,000円／人

（注意: 交通費・宿泊費は参加費には含まれませんので、  
学生ボランティア含めて参加者の負担となります）

■宿泊施設: 参加者はIAUD事務局が手配するホテルに宿泊して頂きます。  
参加申込者に対して、別途ご案内をいたします。

■設 備: カラープリンター、コピー機、活動に必要な一部の画材、用具（模造紙、付箋紙、マーカー、マスキングテープ、カッティングボード、カッター、定規など）はIAUDが用意致しますが、以下の備品は、参加者各自でご用意ください。【ラップトップPC、デジタルカメラ、製図用具、スケッチブックなど】

（注）パワーポイント2007及びMac用パワーポイントの使用は、機器対応上の理由により不可とさせていただきます。

■産業財産権等の取り扱いについて

ワークショップの過程で生じた著作物に係る著作権はIAUDに帰属します。ワークショップの過程で生じた発明、考案または意匠の創作に関する特許、実用新案登録および意匠登録を受ける権利ならびに当該権利に基づき取得する特許権、実用新案権および意匠権はIAUDに譲渡もしくは実施許諾を頂きます。また、デザインマラソンの成果をメディア等へ公開するにあたって、参加者の肖像を使用させて頂くことがあります。

# ●会場周辺地図およびアクセス

九州大学芸術工学部多次元デザイン実験棟  
(大橋キャンパス)  
〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1  
TEL.092-553-4400(代表)

## 【多次元デザイン実験棟】

多次元デザイン実験棟は、学生のあいだでは通称「多次元」と呼ばれている多目的施設です。メインの施設である中央実験ホールと付随する4つの基礎実験室、そしてそれらを取り囲む展示ホール等で構成されています。中央実験ホールは、ホール内に設置された各種音響・映像装置を用い、外界とは全く異質の実験空間を作り出すことが可能な施設です。



## access

JR 博多駅から バス利用 所要時間 25分程度

博多駅郵便局前B 20分 塩原4丁目 5分 大橋キャンパス  
西鉄バス(系統番号47・48)に乗車

天神から 西鉄天神大牟田線利用 所要時間 15分程度

西鉄福岡(天神)駅 8分 大橋駅 5分 大橋キャンパス  
西鉄天神大牟田線

福岡空港から 地下鉄利用(天神で乗換え) 所要時間 30~40分程度

福岡空港駅 11分 天神駅 乗換え 大橋駅 5分 大橋キャンパス  
市営地下鉄

西鉄福岡(天神)駅 8分 大橋駅 5分 大橋キャンパス  
西鉄天神大牟田線